

# オーブン カレッジ

名古屋(東海地域)では、電気自動車(EV)の急速な普及による自動車産業の構造変化や経営者の世代交代が課題となっている。ものづくりの産業を革新しながら、さらに観光や流通などの産業を育成し、人口の高齢化や福祉など、社会の変化に対応するサービス産業を育成することが求められている。これらの産業は、女性の多い職場であり、女性経営者の発掘育成も求められる。これまでこの稿で取り上げてきた安城自動車学校、世界の山ちゃん、井村屋などの女性経営者に率

## 女性経営者への期待

支店の21年7月の調査では、愛知県に本社を置く675社のうち、女性従業員が占める割合が3割以上の企業は、34・1%と全国平均(33%)を上回っているが、女性が社長を務める企業の割合は、21年4月時点で岐阜県が5・5%、愛知県が6・2%で、全国平均(8・1%)を下回り、全国ワースト1位と2位で、女性経営者の育成が課題である。

アメリカの調査では、女性や黒人、LGBTQ+などが登用され、取締役会の多様性が高いと企業の成果が上がることを示す説得力のある証拠はほとんどないけれども、集団の異質性は、意思決定の質を高めるという研究成果がある。別の研究では、取締役会での女性

することができるとしている。化粧品業界は、顧客の多くが女性であるにもかかわらず、女性を経営者とする企業は少ない。株式会社ポーラの及川美紀社長は、その数少ない創業家出身ではない女性経営者である。及川社長は宮城県石巻市出身で、東京女子大学を卒業後ポーラ化粧品本舗(現ポーラ)に入社し、営業部員やエリアマネージャー、商品企画部長を経て、20年1月に社長に就任し、ダイバーシティ&インクルージョンを経営戦略の一つに掲げ、さまざまな施策を打ち出している。

株式会社ポーラは「格差」の解消に全社を挙げて取り組み、その一環として、総合職では管理職における男性・女性の比率を同等にすることを掲げ、企業の重要意思決定機関に占める女性割合の向上を目的とした英国発の「30% Club Japan」に参加し、実際に女性の役員比率は、22年7月時点で4割を超えている。女性のライフステージ

# ものづくりから サービス経済へ

いられた会社は、特徴的な経営によって業界他社を上回る業績を上げている。

帝国データバンク名古屋



角田 隆太郎  
大学 大学院 教授  
現代学 経営学 博士 後期課程  
取得

つのだ・りゅうたろう マーケティング戦略論。神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得後退学。

やマイノリティの発言は少ないが、女性やマイノリティのうちの一人が高いステータスのリーダー職を務めた経験があると、発言が著しく活発になる。また取締役会の開催前に、重要な問題についての意見を文書で提出するようメンバーに促すことで、過小評価グループの貢献を増やし、支配的な意見が議論を乗っ取るのを防ぎ、集団思考(グループシンク)の危険性を回避

愛知県(一宮市)は、市川房枝という優れた女性リーダーを生み出した土地柄であり、経営者として優れた資質を持つ女性も少なくない。これらの女性たちが、日本(名古屋)の経済の停滞を突破し、活性化させるきっかけをつくるのではないかと期待している。